

研究主題

自分らしく「かがやき」学びを表現する子ども

～伝統の根に 革新の芽を～

京都市立御所南小学校

研究発表会（二次案内）

本校は昨年度、創立30周年を迎えました。明治2年に「子どもたちのために」という地域の方々の思いと願いにより、町衆の力で誕生した番組小学校の伝統と精神は、今もなおこの地に脈々と受け継がれています。

変動する時代の中「自分らしく生き抜く力」を一人一人に育てていきたいと考え、研究主題を「自分らしくかがやき、学びを表現する子ども」と設定して実践をしてきました。今年度より文部科学省研究開発学校の指定を受け、学校教育法施行規則第51条の規定によらず、1単位時間を40分に設定するとともに、それによって生み出した時間を活用して、自分の興味関心に応じた学びを充実させる教育課程の研究開発を行っています。本校の研究について、皆様からのご意見を頂戴し、今後の実践につなげるべく研究発表会を開催いたします。校務ご多用とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。



日時
2025年
11月28日 金
10:00-17:00
9:30～受付



◆パネルディスカッション 指導助言・パネラー（50音順）予定
京都大学大学院教育学研究科准教授（運営指導委員）
石井 英真 先生
立命館大学文学部准教授・教職教育総合センター副センター長（運営指導委員）
川那部 隆司 先生
北海道教育大学教育学研究科高度教職実践専攻教授（運営指導委員）
渋谷 一典 先生（じぶん部）
早稲田大学文学学術院教授
森山 卓郎 先生（ことば部）

◆指導助言
京都市教育委員会総合育成支援課 参与
平塚 修一郎 先生（育成部）
京都市教育委員会 体育健康教育室 参与
山口 淳 先生（からだ部）

本校教員と一緒に議論します！

9:30	10:00	10:20	10:30	11:10	11:20	12:00	13:20	14:20	14:30	15:15	15:30	17:00
受付	研究提案	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	昼食休憩	ハカセの時間	移動	事後研究会	移動	パネルディスカッション	

2,000円（資料代）
※学生・京都市立学校からの参加者は無料



公開授業

☆公開授業Ⅰ（10:30～11:10）

機番NO.	学年・クラス	教科・領域	単元名	授業者
①	1年5組	体育科 個⇄協	たからはこびゲーム	坂田 章子
②	2年3組	生活科 協	もっと 大きいっぱい ごしょ南の町	高瀬 奈菜
③	3年2組	総合的な学習の時間 協	地域の人とともに考えよう 守ろう フジバカマ	米谷 誠介
④	4年5組	国語科 共	つながりを見つけながら読み、 おもしろいと思ったことを話し合おう 「友情のかべ新聞」	金海 葵
⑤	5年1組	総合的な学習の時間 協	御所南校区 ほっこりSPOTプロジェクト	今市 英利香
⑥	7組 (育成)	生活単元 個・協	7組 たんけん隊	村上 善之 人見 智行 高橋 香菜 東山 美砂子 真田 泰成 山川 由美子

☆公開授業Ⅱ（11:20～12:00）*6年生のみ12:05まで

機番NO.	学年・クラス	教科・領域	単元名	授業者
⑦	1年4組	生活科 個⇄協	だいすき いっぱい わたしたちのあき	池田 梓月
⑧	4年3組	国語科 個	つながりを見つけながら読み、 おもしろいと思ったことを話し合おう 「友情のかべ新聞」	内田 美砂子
⑨	4年1組	国語科 協		谷口 真由
⑩	4年6組	総合的な学習の時間 協	御所南のまち 守り隊 Next Stage	山田 晋吾
⑪	5年5組	体育科 個⇄協	ポッチャ	大槻 健実
⑫	6年1組	総合的な学習の時間 共	もったいないはどこから	加茂田 真也

共・・・共有の時間（単元の見通しや計画を立てる時間・問題・課題に対する考え（答え）を確かめる時間）

☆全ての教科等において、単元はじめに単元全体を見通した問題・課題を設定し、計画を立てる。

☆個別、協働で考えたことを友達と確かめ合う。

個・・・個別の時間（個人で単元の問題・課題に対する考えをつくる時間）

☆子どもたちが、様々な方法で情報を収集・活用し、単元の問題に対して個人で向き合いながら、自分の考えを創り上げる。

協・・・協働の時間（友達と協働し、自分なりの考えをつくる時間）

☆単元全体を見通した問題・課題に対する自分の考えを友達と協働しながら議論し、解を見つけ出したり、考えの異なる友達と討議したりする。

ハカセの時間

40分授業を実施することによって生み出した時間を活用して、自分の興味関心に応じた学びを充実させる教育課程の研究開発を行っています。自分の興味・関心をもとに課題を設定し、夢中になって取り組んだり、自分のやりたいことに対して没頭したりする時間です。

「生み出された時間」を、子どもの時間として返すため「じぶん」と向き合う時間にするため、試行錯誤して取り組んでいます。学校運営協議会、保護者・地域から「ハカセの時間サポート隊」を募り、地域の人材を生かしていきたいと考えています。

申込

2025年

11月21日 金

までに、右のQRコード（または下記URL）から、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/CJpE1JF26C>

